



ふしだら娘



allo

みんなー！
今日の出兵も
お疲れ様ー！

本日も鬼神の如き
御活躍でしたね
佐和山城さん

これしきの働き当然だ
さあ報酬は
皆で分け合おうぞ

なんだ？

す

私にこれを…？

……

ああ…

：わっ私には必要ない
他の娘にくれて
やってくれ

えー!?
もらいんさいよ!



む……
広島城

相変わらず
佐和山城は
堅すぎじゃあ

せっかく殿が
一番手柄の褒美に
つれてみんないよ



なっ
——
!!

やあ

おっばいは
こーんな柔らかい
つちゅーのに

ビビ



殿っ♪

そう 私は城である



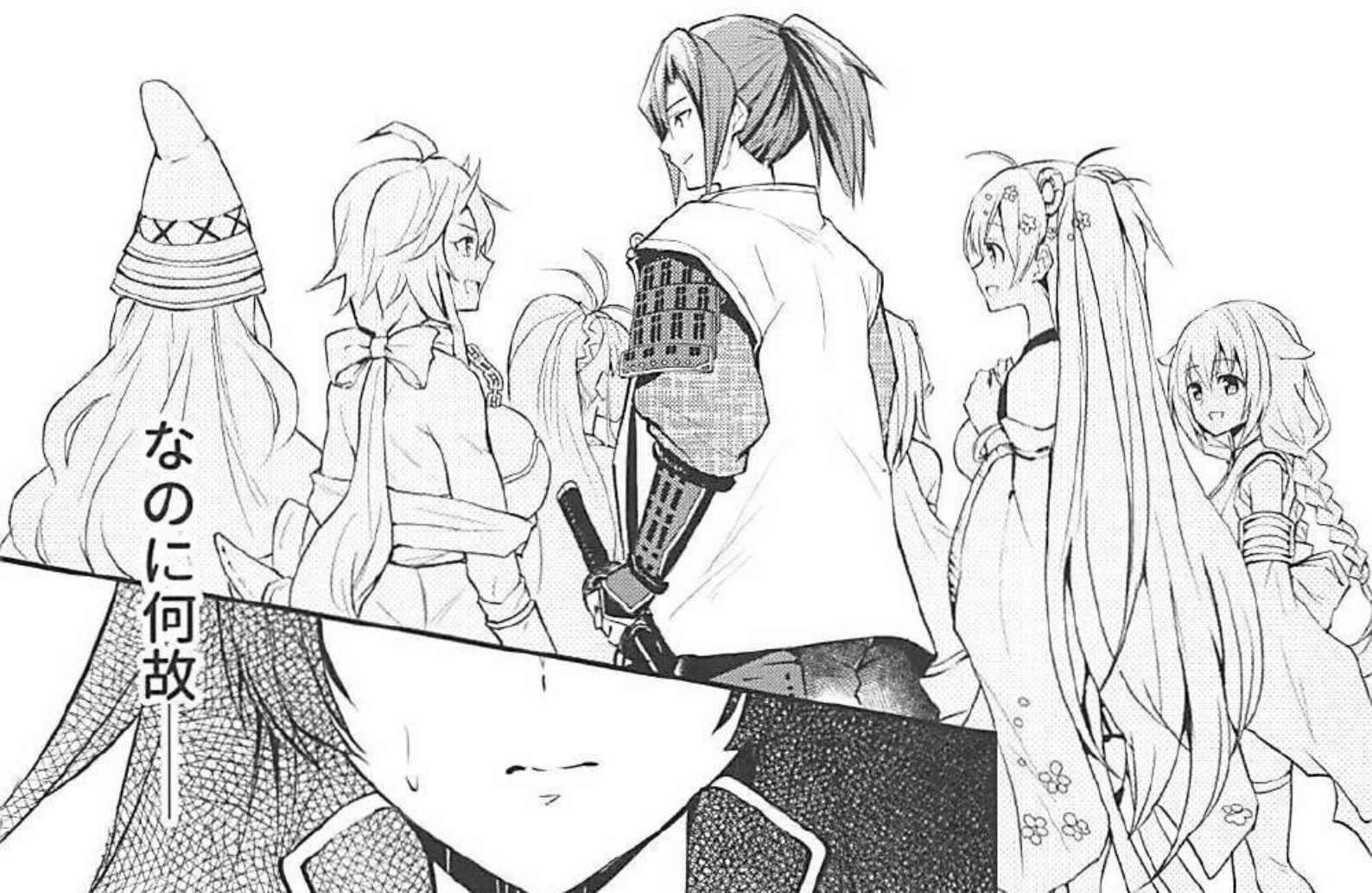
のう殿もそう
思うじゃろ?

何をするっ!?



飾り気や娘としての
魅力など必要ない

必要なのは民のため
太平の世を
守り抜く力だけだ



なのは何故



質素儉約に努め
常に戦に
臨んでいた私が



なぜこのような
丰满な娘の身体に
受肉してしまったのか
自分でもわからぬ



城としての矜持を
保とうにも
娘としてのこの身体を
持て余してしまつて



戦後の昂ぶりが
こうさせているのか...?



肉体の疼きが
日に日に高まっていく



んんっ
んんっ
!!

私が殿とお呼びするのは
大坂城殿だけだと言うのに…
彼を殿と呼んでしまった…

はっ

はっ

は…あ…はあ…

殿……?

この気持ちは一体…?

びい

ん……?









なんだこの天守まで
突き抜けるような
快楽は……？



……やはり
この男
只者ではない……っ

この私が
こんなにも容易く
乱されてしまうとはっ



あっ

はっ

もみ

もみ



あ…っ

んん

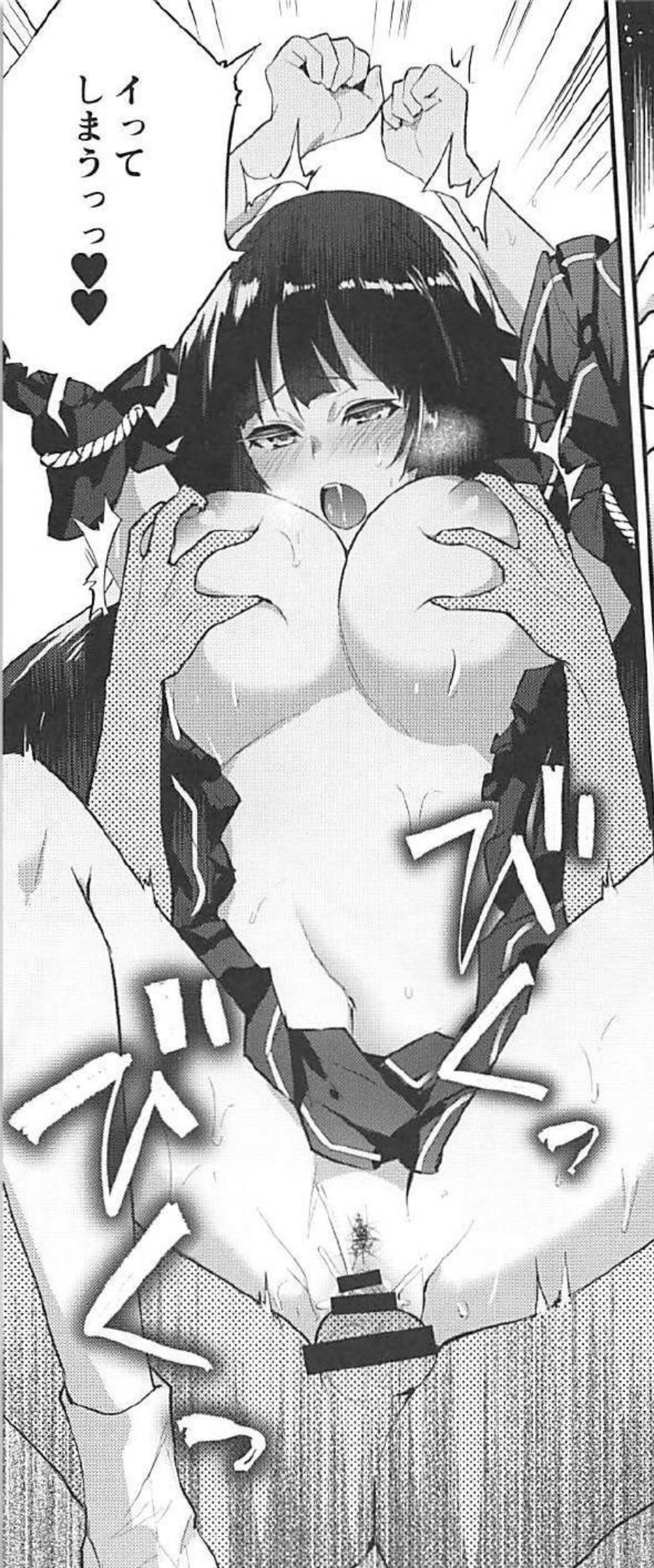
んんっ



や…っ

そんなに
胸を…
触られたらっ

んんん



イって
しまじっっっ
♡♡



また……っ



またっ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

なんてことだ……
殿はまだ一度も
出していないというのに

私もう二度も
達してしまった……

はあ……はあ……

あっ！

あっ！

あっ！

あっ♡

私はこんな

んっ♡

あっ♡

ふしだらな娘だったのか？









私が着飾ると
殿は喜ぶのか...

そうか.....♡

あっ♡

んっ♡

んっ!

んっ!

んっ!

んっ!

んっ!

んっ!

んっ!

んっ!

んっ!

んっ!





おっ!
お早う
佐和山城



なんじゃあ!
よう似合っとるのう!
どういう心変わりじゃ?

女

その…
たまにはよいかと
思ってたな……

はは〜ん?

なっなんだ!



お…お早う…

★おわり★

贈り物でさわわの好物は菓子だけど
かんざし・菓子・和歌集の中で消去法的に
菓子なんじゃないでしょうか。

(菓子→食べ物→血肉になる→強くなる
といった思考で)

だから、かんざしをあげたら
照れながらもいつかつけてくれたら
いいなあと思って描きました。

長代ルージュ

この本は個人的趣味で作られたものです。
著作権とは一切関係ありません。

禁止事項

- 18歳未満の購入・閲覧
- 転載・複製・複写
- 本文のインターネット・SNSへの掲載
- ネットオークション
- フリマアプリへの出品・掲載

『ふしだら娘。』

発行日: 2018年3月21日

著者・発行者: 長代ルージュ/allo

連絡先: <https://allonaga.tumblr.com/>

印刷: サングループ様

 **SUN GROUP**
<http://www.sungroup.co.jp/>

パイズリもみたのた〜



御城プロジェクト:RE
非公式ファンブック
#03 殿×佐和山城
2018.03.21

allo

